

2025年3月期（第207期）第2四半期（中間期）決算について

2024年10月31日

大阪ガス株式会社

1. 経 営 成 績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 決算の概要

当中間期の売上高は、国内エネルギー事業で LNG 販売量が減少したことや原料費調整制度に基づきガス販売単価が前年同期に比べて低めに推移したことなどにより、減収となりました。経常利益は、国内エネルギー事業における原料価格などの変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグ（*1）による増益影響が縮小したことなどにより、減益となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、減益となりました。

（*1）原料価格及び燃料価格の変動が、原料費調整制度及び燃料費調整制度に基づく販売単価に反映されるまでには一定の時間差があるため、一時的な増減益要因となります。

[単位：億円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益
連 結	9,501 (△4.6%) [9,956、△455]	549 (△43.2%) [967、△417]	718 (△42.0%) [1,238、△519]	507 (△43.1%) [893、△385]

[] 内は前年同期実績及び対前年同期差、()内は対前年同期増減率

(2) セグメント別概況

「国内エネルギー」のセグメント利益は、原料価格などの変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグによる増益影響の縮小などにより、減益となりました。「海外エネルギー」のセグメント利益は、米国および豪州の上流事業などにおける円安の為替影響により、増益となりました。「ライフ&ビジネス ソリューション」のセグメント利益は、情報ソリューション事業での減益があったものの、材料ソリューション事業などでの増益により、増益となりました。

[単位：億円]

	売上高	セグメント利益（注）
国内エネルギー	7,883 (△6.8%) [8,462、△579]	117 (△79.7%) [579、△461]
海外エネルギー	591 (+20.3%) [491、 +99]	354 (+12.8%) [314、 +40]
ライフ&ビジネス ソリューション	1,366 (+2.6%) [1,331、 +34]	175 (+4.1%) [168、 +6]

（注）セグメント利益：営業利益＋持分法投資損益

[] 内は前年同期実績及び対前年同期差、()内は対前年同期増減率

(3) 国内ガス販売実績

国内の連結ガス販売量[45MJ/m³]は前年同期を下回りました。家庭用のガス販売量は、高気水温の影響などにより、前年同期を下回りました。業務用等のガス販売量は、特定のお客さま先での設備稼働減などにより、前年同期を下回りました。

連結ガス販売量（百万m ³ ）	2,949（△ 3.0%）
家庭用	536（△ 8.0%）
業務用等	2,413（△ 1.9%）
連結ガス供給件数（千件）	5,083（+ 1.3%）

（ ）内は対前年同期増減率

(4) 国内電力販売実績

国内の電力販売量は、小売と卸等がともに増加し、前年同期を上回りました。

電力販売量（百万kWh）	7,878（+12.5%）
小売	3,652（+11.0%）
卸等	4,226（+13.9%）
低圧電気供給件数（千件）	1,853（+ 5.2%）

（ ）内は対前年同期増減率

2. 当期（2025年3月期）の業績予想

2024年5月8日に公表した業績予想から修正はありません。

[単位：億円]

	連 結
売上高	19,860（△ 4.7%）
営業利益	1,235（△ 28.4%）
経常利益	1,530（△ 32.5%）
親会社株主に帰属する当期純利益	1,120（△ 15.6%）

（ ）内は対前期増減率

（参考）原油価格・為替レート的前提（2024年4月1日～2025年3月31日）

原油価格（全日本C I F 価格）：75 ドル/バレル・為替レート（TTM）：145 円/ドル

以 上